

EWOV-M128S

複数台接続用ソフト インストール マニュアル

長寿命SSD（型式：EWOV-M128S）を同一PCに複数台接続する場合に使用するソフトです。

●対応OS

Windows 11, 10

※Windows11(Sモード)、Windows10(Sモード)、およびARM版Windowsには対応していません。

●管理者権限を持ったユーザーが操作をしてください。

●1台のPCに Max 5台の長寿命SSDを接続できます。

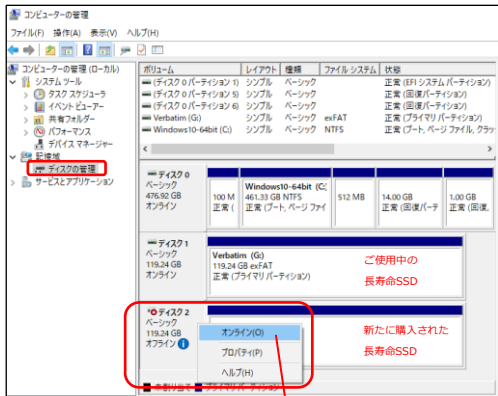
操作方法

1. 長寿命SSD用の常駐ソフトを終了させてください（通知領域の  アイコンです）。
2. ご使用中の長寿命SSDをPCIに接続し、正常に認識されていることを確認してください。
E:やF:などのドライブレターが振られていれば正常に認識されています。
3. 次に、新たに購入された長寿命SSD 1 台をPCIに接続してください。
この段階では、新たな長寿命SSDにはドライブレターが振られていません。
4. ダウンロードしたZIPファイルを展開し『adding_WOV.exe』を実行してください。
5. 複数台接続用ソフトの「開始」ボタンを押します。
「設定中」の表示が消え「終了」ボタンが表示されるまで待ちます（5秒程度）。
まだ「終了」ボタンは押さないでください。
6. コントロールパネルの「コンピューターの管理」を開きます。
Windows 10：コントロールパネル→システムとセキュリティ→管理ツール
Windows 11：コントロールパネル→システムとセキュリティ→Windowsツール
7. コンピューターの管理（ローカル）の中の「ディスクの管理」をクリックします。
8. しばらくすると、ディスクのパーティション情報が表示されますので、その中からオフラインになっているディスクを見つけます。
9. オフラインと表示されている文字付近で右クリックして、オンラインを選択します。
（オフラインのドライブが複数ある場合は容量などを参考に長寿命SSDを選択してください。）
しばらくすると、オンラインになり、ドライブレターが振られます。
10. 複数台接続用ソフトの「終了」ボタンを押すと、ソフトが終了します。

以上の操作で、同一PCで複数台の長寿命SSDが使用できるようになります。

長寿命SSD用の常駐ソフトを起動（またはPC再起動）してご使用ください。

次頁は、ディスク1がご使用中の長寿命SSD、ディスク2が新たに購入された長寿命SSDの場合の例を示しています。



しばらくするとオンラインになり、ドライブレターが振られます。



ご 注 意

- 本ソフトウェアは、.NET Framework 4.8を使用します。長寿命SSDの常駐ソフトが動作している環境であれば既にインストールされています。
- 以下のサイトのFAQもご参考になさってください。
WOVシリーズ商品サイト https://www.verbatim.jp/products_wov.html

本製品に関するお問い合わせ

Verbatim Japan株式会社、またはご購入された販売代理店までお問い合わせください。